



国中だより

国立第一中学校

学校だより

平成28年度11月号

11月15日発行

一中ホームページ：国立市HP→くにたちの教育→国立市立小中学校へアクセス

「オリンピック・パラリンピック教育」

校長 黒田 宏一

11月に入り、朝晩の冷え込みも厳しさを増すとともに、校庭の桜の木や銀杏の木も赤や黄色に色づき始め、季節も徐々に秋の終わりへ向かっているを感じさせます。10月22日に実施いたしました「平成28年度合唱コンクール」には、多数のご来賓・保護者の皆さまにご来場いただき、生徒への温かな励ましをいただきましたことを心より御礼申し上げます。ありがとうございました。

また、東京都教育委員会より「情報モラル推進校」の指定を受け5月より全校で取り組んで参りました「情報モラル教育・SNS一中ルール策定」も、10月5日に国立三小での出前授業の実施、11月4日の都教委主催の「情報教育フォーラム～『SNS東京ルール』の取組の推進状況について～」での代表校事例発表及び紙上発表を行わせていただき、多くのご意見、評価をいただくことが出来ました。保護者の皆さまのアンケート依頼など様々なご協力をいただいたことに改めて感謝申し上げます。

さて、本年度(から)の新たな取組として、「東京都オリンピック・パラリンピック教育」があります。オリンピック憲章には、「1. オリンピズムはスポーツを文化、教育と融合させ、生き方の創造を探究するものである。その生き方は努力する喜び、良い模範であることの教育的価値、社会的な責任、さらに普遍的で根本的な倫理規範の尊重を基盤とする」とされており、さらに「2. オリンピズムの目的は、人間の尊厳の保持に重きを置く平和な社会を奨励することを目指し、スポーツを人類の調和の取れた発展に役立てることにある」とあります。また、オリンピック・パラリンピック競技大会の究極の目標は、「平和でより良い世界の構築に貢献すること」であり、「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」を子ども達の人生においてまたとない重要な機会と捉え、学校の教育活動を通じ推進していくことになっています。

その取組にあたっては、4つのテーマ「①オリンピック・パラリンピックの精神②スポーツ③文化④環境(国際オリンピック委員会は環境保全を重視し、その徹底を図る取組を推進している)」を設定し、4つのアクション「①学ぶ(知る)②観る③する(体験・交流)④支える」を組み合わせて行うことにしています。その取組を通して多くの資質・能力を身に付けることを期待しながらも、特に「①ボランティアマインド②障害者理解③スポーツ志向④日本人としての自覚と誇り⑤豊かな国際感覚」の5つについて重点的に育成を図っていくことにしています。そこで、本校では今年度、②障害者理解と⑤豊かな国際感覚の2つに重点を置きこの学習を進めていくことにしています。

A組では、11月11日に研究授業を行い、パラリンピックの正式競技である「ボッチャ」の体験をしました。ボッチャはジャックボール(目標球)と呼ばれる白いボールに、赤・青のそれぞれ6球ずつのボールを投げたり転がしたり他のボールに当てたりして、いかに近づけるかを競う競技です。なかなか当てたり思うように近づけることができず、難しさを感じていたようですが、当てたときは大喜びしていました。また、12月14日(水)には、「⑤豊かな国際感覚」の学習の一環として目黒区にあるトゴ共和国大使館の広報官を務めているジュルス・K・アデュアヨムさんをお招きして国際交流会(講演会)を体育館で開催することになっております。文化、オリンピック選手、自身の夢等について話していただきながら、民族楽器体験なども予定しています。これは、本校の卒業生が通っている大学での学習の一環として同大使館でのインターンシップが縁となり実現するものです。保護者の皆さまの席を用意しておりますので是非参加ください。

「情報モラル教育・SNS一中ルール策定」では、生徒は多くのことを学び身に付けています。一中ルール決定後のアンケートでは、「相手への思いやりの気持ちを持って利用して(しようとして)いる。」との回答が、利用生徒全体の90%以上でした。2学期より始まった「オリンピック・パラリンピック教育」においても、たくさんのことを学び生徒一人一人の成長につながるものとなるよう心より期待しています。

